

助成事業実施報告書

団体名.....こども食堂スマイルにっ！  
代表者・役職名 氏名.....代表 夏目和明

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

こども食堂、学習支援

2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度

豊橋市内の子どもを中心に皆んなの居場所として、こども食堂を開設。  
現在、子ども食堂(月2回)、学習支援(月1回)、フードパントリー(不定期)を開催。  
季節に合わせ行事(節分、雛祭り、お花見、流し素麺、ハロウィン、クリスマス餅つきなど)で、普段体験出来ない食事メニューも企画しています。  
地域の方々の居場所として、誰でも参加できる食堂です。

3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度

6/1～8/31 3ヶ月で全24回開催(食堂3回、学習支援6回、お弁当配布6回、フードパントリー11回開催)。のべ数801名(子ども373名、大人130名)、また298家庭が利用されました。長期休みの夏休みには、週1回ペースで学習支援を開催。朝～夕までの時間を設定し、夏休みの宿題や工作、流し素麺、スイカ割り、水遊び、水鉄砲合戦など長時間を活用して、学童施設に行けない子ども達を中心に活動。将来、教職の職業を目指している市内在住の大学生などがボランティアに参加し、地域の居場所作りへ大きく活動できたと感じます。

4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

課題は、食堂、学習支援のボランティアの確保です。季節に合わせたイベントの食堂開催はボランティアの人数は揃うのですが、普段の食堂、学習支援のボランティアはその時その時で人数が安定していない状況です、特に学習支援開催時に学生ボランティアがいないと、自習がメインになってしまっています。市内の中心から遠く離れていることも影響しているので、今後は市内在住の大学生ボランティアが参加できるような体制、食堂のPR、送迎の打ち合わせなどを個人個人に合わせて活動していきたいと思います。

5. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等のデータ。活動の様子がわかる写真などを必ず別途ご提供ください

